

西原町立西原東中学校 校長

自立貢献

かなまる

8・9月行事予定

予定であり、変更の可能性もあります。

8月11日 木	学校閉庁（～13日 金）
23日 金	1学期後半開始 給食実施
26日 金	1学年内科検診
31日 火	推薦入試説明会②
9月 2日 木	考查前部活動停止（～9日）
8日 水	地区陸上選手激励会
9日 木	期末考查（～10日）
10日 土	地区陸上競技大会（1日目）
11日 日	2学年PTA作業
15日 水	人権学習
18日 土	地区陸上競技大会（2日目）
25日 土	西原東中学校 体育祭

7月2日、中城村吉の浦会館にて「令和3年度中城村・北中城村・西原町中学生フォーラム」が開催されました。昨年度はコロナ禍により中止となりましたが、参加する生徒会代表等の要望と主催者（各村町教委）の尽力で実現しました。開催目的は「学校生活における諸問題についての生徒同士の意見交換等により、その解決に向けた取り組みの実践化に資する」との旨が示されています。フォーラムでは参加各4校の生徒会活動のうち、特色あるものが報告され、活性化に向けての課題が提示されました。各報告に対する質疑応答の中で、本校のリーダー研修会（4月実施）に対して「始業間もない実施。異学年生徒が意見を交わしやすいうえ、雰囲気作りの工夫は」との質問に対して「会の始めにアイスブレイキングを設定して打ち解け合える工夫をしました。」と生答され、会長から即時明確に回答されました。会の成功



に、向けて熟考されたことを感じる堂々とした答弁でした。

感染防止の観点から時間短縮での運営となり参加者の意見交換はありませんでした。が、本校からの参加生徒は他校生徒会の実践に良い刺激を受けた様子が窺えました。

自立貢献に向かう生徒会。その活動は生徒らの責任感、当事者意識などによって成り立っています。そのことを再確認し、今後も生徒会により良い在り方を模索し続けてくれると思います。

中学生フォーラム開催

裏面に各種大会成績・平和学習を終えた生徒の感想文を掲載。



せつもごになにもアル。危険な学ぶもの。象
 せんて話家つ使。なる原因。知
 かみし庭いい安る要。素
 。ま合でて方全事因。知

SNS 講話

平和祈念資料館では、真新しい展示物で沖繩戦の実態を。施設の職員からは戦争体験者の証言とそれにまつわるエピソード、語りべの心情に触れるお話を聞かせていただきました。

ールドワークが取りま
 した。四月から行われま
 平和学習の一環。これま
 で進められた机上での学
 習を実感として捉え直し、
 理解や考えを深める活動
 です。ひめゆり平和祈念
 資料館、沖縄師範健児の
 塔、魂魄の塔、平和祈念
 公園を巡り、それぞれの
 施設で計画された学習に
 取り組みました。生徒は
 学習のしおりに適宜書き
 込みをしながら学習を深
 めます。

三学年平和学習

カラー版は本校ホームページにてご覧いただけます。



本校から国体九州ブロック大会出場選手が生まれました。3年嘉陽田澤さんは卓球クラブチームと本校卓球部に所属する選手で、6月に行われた国体卓球競技県予選少年男女の部に出場。高校生を含むこの部を勝ち抜き、代表枠3名に選出されたもの。九州ブロック大会は8月に福岡県で開催されます。快挙を共に喜び、関係者一同で応援します。健闘を祈ります。

国体九州ブロック出場



誓いを。終戦
から76年。二度とあ
はならない現実とそ
ら生みたい平和の強
な思いを伝承したい
う心が育つ体験であ
欲しいと願います。

幼小中連携研修会

7月8日、西原町立幼小中連携授業研究会が行われました。各中学校区内の学校職員が一堂に会して年に一度開催されます。西原東小学校で行われた授業を参観した後、参加者が授業改善、学力向上の視点で協議を行いました。園児児童生徒に還元したいです。



コロナ対策を！

生徒・家族の風邪症状で自宅待機をお願いしています



7月16日、沖縄県教育庁中頭教育事務所の所長、指導主事等職員が本校に訪問され、上施策の円滑な実施により、生徒の学力向上に資することを目的とするものです。

育学校で行われる様々な教育実践の説明や先生方の授業担当者から生徒の学力向上等に関する具体的な指導・助言をいただきました。

参加する生徒に褒めの言葉をいただきました。また、先生方の授業に対する助言があり、活かしたいと考えています。

学校訪問



7月9日放課後、所属する
各自自治体の生徒が、
徒會を發足させ、
年開催されるこの会では、
自治体の活動を共にする
との意味を生徒と自己の認
し、地域に貢献して、
キヤリアップを目指す
動を推進し、
治体を活動計画
お手伝い
一覽表と
連絡した。各々、
連絡係が選出され、
制が整備された。コ
では、いま、保護
同意もあり、ま
も地域も学校も活
動になればと考
えています。

地域生徒会結成式

第48回中頭地区中体連夏季総体
バドミントン競技大会

女子個人ダブルス 5位（県大会出場）
3年 川満咲来 末吉和奈
女子個人シングルス 準優勝（県大会出場）
2年 前田鈴菜

第40回全日本ジュニア選手権県代表選考会

ジュニア新人の部 2位
2年 前田鈴菜

第67回全日本中学校通信陸上競技大会
沖縄大会

女子1年百m 6位
小橋川唯乃

第41回沖縄県中学校夏季陸上競技大会

男子共通三千m 3位
3年 平良理樹

与那原町長旗・町長杯争奪
第28回沖縄県小学生・中学生なぎなた大会

演技競技中学生の部
優勝 3年 瀬長拓夢 2年 鳥谷梨月
3位 2年 新崎日菜 1年 仲吉らうら

個人試合中学生男子の部
優勝 3年 瀬長拓夢

個人試合中学生の部
3位 3年 金城梨理
3位 2年 宮平 奈沙

団体試合中学生の部
2位 西原東中学校B
2年 宮平奈沙 桃原花梨 鳥谷梨月

カラー版は本校ホームページの学校便りにてご覧いただけます。

カラー版は本校ホームページの学校便りにてご覧いただけます。

第63回沖縄県中学校水泳競技大会

二百m個人メドレー2位（九州大会派遣）
四百m個人メドレー4位
2年 佐藤蒼汰

平和学習 生徒感想

1学年、2学年で実施した「読み聞かせ『マブニのアンマー』」を終えて

1年1組 平田希光

私は今日の読み聞かせを聞き、遺骨をひろっている母親の姿を見て、沖縄戦は、戦時中も人々を苦しめるけど、終わったから、全てが終了するのではなく、戦後も亡くなった家族や友人がいる人にとっては、すぐ心がいえるはずもなく、苦しんでいると思うので、やっぱり戦争は恐ろしいものだなと思いました。

また、本の中で遺骨を通し戦時中の情景を見て、改めて戦争のさくさくさが分かりました。中でも、英語が書かれた手紙を持つていただけで、例えば子どもでも敵だと思認識されるのは、とてもりふじんだと思いました。また、遺骨は家族にとって、とても大切なものだと分かったので、一刻も早く全て見つかったほしいと思いました。

1年3組 比嘉円香

改めて、戦争は、二度おきてはいけない事だなどと思った。自分の息子を探すために、誰に何と言われようと、11年も骨を探しに行っていたマツさんは本当にすごいなあと思った。もしかしたら、実際にマツさんのように、ずっと骨を探している人とかいるのかもしれないと思った。最後に、“まだ骨は地面にうまっている”と聞いて、おどろいた。うまっている骨たちは、誰かに見つけれられるのを待ち続けているんだらうなと思った。私は今生きていることに感謝し、夢を持って、戦争のおろかさ、さくさくさを、語り続けていきたい。

1年4組 高橋美花

私は、今日の読み聞かせのように、自分になつてしまつたら：と考えると、私は、悲しすぎてたえられないだろうなと思ひました。また、亡くなつてしまつた人は、戦争が終わつても、ずっと苦しい思いをしなから家族のことを待っているのかなと思ひました。自分の子どもの骨を見つかるまでに11年かかるということは、それほどたくさんの骨が落ちているんだらうなと思ひできてとってもびっくりしました。今日の読み聞かせでは、戦争中の生活が苦しいのはもちろん、戦争が終わつた後も、家族に会いたいという気持ちで、苦しい思いをして生活している人がたくさんいるんだらうなと思ひました。なので、戦争から76年たった今でも、戦争のおそろしさ、平和のありがたさについて考えることが大切だなと思ひました。

2年1組 中村明香峯

前にこの「マブニのアンマー」は自分で読んでみたことがあつたけど、今回は「読み聞かせ」だつたから、とっても登場人物の気持ちとかが伝わつてきて、前とはまた別の物語のように感じた。

自分達は戦争を体験していないから、いつも近くて遠いような感じだつたけど、今でもこの沖縄の地に約17万人もの亡くなられた方々の遺骨がねむっていると聞いて、すぐく身近だと思つた。この話は実話で、11年も息子の骨をさがすなんて、だれでもできることじゃないし、76年たった今でもまだ、身内のもとへ帰れていない人たちがいるのは、辛いことだと感じました。

2年2組 三盛洋子

アンマーがあきおの遺骨をさがしている間に、あきおではない他の白骨たちのことも想つて遺骨さがしをしていた。他の白骨たちにとつてのアンマーでもあるよ、と声かけをして、子守歌を歌っていた。もし、自分が白骨であつたら、大きな心の支えになつて、そして自分の母のぬくもりを思い出して、懐かしい、温かい気持ちになつた。だらうなと考えていたら、泣けてきました。

人生で自らの大きな心の寄り所となる母親と突然生き別れてしまうのはつらいし、とてもさみしいです。読み聞かせを聞いて、自分がかもしアンマーだつたら、自分がかもしあきおだつたら、と考えると、戦争は恐ろしいものと改めて思つた。きら星7の読み手の方々の声とリコーダーの音色がこの絵本に合つていて、感情移入しやすかつたです。

2年3組 宮里來弥

戦争から11年間、自分の息子を想ひ骨になつたたくさんの人たちを目にしなからも見つけるまであきらめなかつたアンマーをととてもすごいと思ひました。沖縄にはたくさんのごうがあるけど、その中から息子を探すと決心するのも難しいのにあきらめなかつたのは家族の絆があつたからだと思ひました。また、本の内容以外でもセリフやナレーションのリアル感もかんどうしました。あいま、あいまもリコーダーの音楽を生で吹いていたのはとてもすごいと思ひました。これから、平和を未来へつなげられることを広げられるようにしたいと思ひました。

